

視聴覚教育

NO. 402

発行日
26. 5. 30

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会
学習情報部

これ知ってる！？

『明朝とP明朝のちがい』
フォントに「P」のついているものを「プロポーショナルフォント」という。幅が均一でなく、文字の形によって字間が詰まる。「P」のついていないものを「等幅フォント（固定ピッチフォント）」という。これを使えば、文字同士の縦横がきちんと揃う。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

●平成二十六年度学習情報部方針決定！

研究主題

ICTを効果的に活用し、「生きる力」につながる情報活用能力と情報モラルの育成を充実させよう

研究の重点

目標「確かな学力を身に付けるICT活用と

情報モラル育成の研究」

①時代に対応したICT活用による、確かな学力を身につけるための実践と研究の推進

②情報モラルの育成や情報セキュリティ意識の向上のための実践と研究の推進

各主任部会の活動

〔広報部会〕

「視聴覚教材・機器利用の手引き」の編集・発行
研究誌「岡崎の視聴覚教育」の編集・発行
月報の原稿執筆と発行 など

〔研修部会〕

各種研修会の計画・実施
校内研修の促進と実績報告の集約
パソコン室及び学習ソフトの活用促進
NHK学校放送番組関連表の作成 など

〔実践部会〕

自作教材の活用事例の集積
授業の実践と原稿執筆
デジタルコンテンツの収集
学習情報部のホームページの作成・充実 など

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第19集

機器の使い方や教材活用の実践事例、自作教材の活用事例が載っており大変参考になります。全教職員に配付しました。ぜひ御活用ください。

「主体的な学び」の創造

現職研修委員会学習情報部長 内田 義和

平成二十五年六月に閣議決定された「第二期教育振興基本計画」において、「ICTの活用等による新たな学びの推進」が主な取り組みの一つに挙げられており、ICTを活用した教育の推進が明示されている。具体的には、「確かな学力をより効果的に育成するため、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新を推進する」というものである。

本年度、岡崎市では「授業革新」を推進する方策として、全中学校へタブレットPC（端末）を導入する。タブレットPC（端末）はタッチ操作が可能で持ち運びも容易であり、各教室で手軽に使用することができる。また、ネットワークに接続することで、校内や岡崎市のセンターサーバにあるコンテンツやインターネット上の情報が活用でき、多様な学びも可能となる。さらには、生徒が互いのデータや画面を転送したり共有したりすることで、共に学び合う協働型の学習を創り出すための有効な方途となる。各中学校がタブレットPC（端末）の積極的な活用に取り組み、生徒が主体となった新しい学びの実現に邁進することを強く願っている。しかし、「授業革新」の一番の要は、授業者の目的意識と実践力である。整えられたICT

環境を有効に活用し、一斉型の授業での革新を目指すとともに、協働型・双方向型の授業など新しい授業形態を工夫していくことが求められている。葵中学校、東海中学校、常磐中学校は、昨年度から、タブレットPC（端末）を活用した「授業革新」に挑戦してきた。教師は、まずはタブレットPC（端末）に「できること」から探りはじめ、授業におけるタブレットPC（端末）の有効利用を模索し、生徒が関わり合い、互いに学び合う「深まり」を実現するようになった。このようにして三校は「授業革新」への大事なプロセスを経験することができたのである。更に今年度は、葵中学校、美川中学校、新香山中学校が、岡崎市教育委員会から「タブレットパソコン活用」パイロット校に指定され、「授業革新」を先導していくことになる。

一方、「情報モラル」の推進にも積極的に取り組む必要がある。今年度は、道徳部や特別活動部、生徒指導部との連携をさらに強化し、取組を拡大・充実していく。

「授業革新」は、校種や教科・領域を超えて、教師が互いに実践や工夫を伝え合い、影響し合い、研鑽を重ねていくことで初めて具現化される。学習情報部は、その土台であると同時に、牽引役でありたい。すべては、子供の生きる力を育む、主体的な学びのために。

平成二十六年年度組織Ⅱ

部長

内田 義和 (葵中校長)
市川 敏彦 (生平小校長)
本間 茂夫 (岩津小校長)



担当指導主事

森 竜師 (教育委員会学校指導課)
岡 秀之 (視聴覚ライブラリー)

指導員

内田 雅之 (羽根小) 村田 貴志 (六北中)

世話係

杉山 康子 (生平小) 成瀬 正和 (羽根小)
近藤 雄一 (東海中) 鈴木 広樹 (額田中)

各部世話係

〔広報部会〕
近藤 雄一 (東海中) 高瀬 玲子 (愛宕小)
三輪 恭之 (六美中) 井上 清美 (夏山小)

〔研修部会〕

鈴木 広樹 (額田中) 成瀬 正和 (羽根小)
坂田 健一 (岡崎小) 鈴木 一史 (竜海中)
神野 裕美 (六西小)

〔実践部会〕

杉山 康子 (生平小) 岩川 皓司 (葵 中)
太田 尚志 (北 中) 長谷川 誉幸 (美川中)
水野 利明 (六名小) 森 綾子 (下山小)

各種大会 ・研究会の案内

《研究会》

- ・三教研ICT活用研究会 (八月)
- ・愛知県放送教育特別研究大会 (八月)
- ※他にも多くの大会や研究会が予定されています。

《研修会》

- ・ビデオ講習会 (七月)
- ・授業力アップセミナー (八月)
- ※この他に学習情報部の自主研修会 (TAV) も九回予定されています。
- ぜひご参加ください。

《研究論文》

- ・パナソニック教育財団実践教育助成
- ・東京書籍教育賞
- ・ちゅうでん教育振興助成
- ・ちゅうでん教育大賞

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・愛知県自作視聴覚教材コンクール
- ・RSO「育て！プリントコミュニケーション」コンクール
- ・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・全国子ども科学映像祭
- ・パナソニック「キッド・ウィットネス」コンテスト
- ・「ニュース」コンテスト

・学習ソフトウェアコンクール
※児童・生徒の作品コンクールも多数あります。

ライブラリーだよ

所長

山田 隆司

所長補佐

岡 秀之

職員

鳥居 貴浩 服部 光晴 西村 知江

今年度、ライブラリーは60周年です。



視聴覚ライブラリーでは、機器・教材を有効に活用していただくために、社会教育・学校教育を対象に次のような支援をしています。

●教材・機材の貸し出し

教材・機材の検索や予約は視聴覚ライブラリーのホームページ (HP) から行うことができます。特に教材は、巡回郵便を利用して受取ったり、返却したりすることが可能です。授業やお昼の放送などで御活用ください。

●リクエスト講習会

撮影や編集の支援を行っています。児童・生徒による番組制作、先生方への教材制作講習等のお手伝いに職員が伺います。また、学校行事の撮影や編集もお手伝いします。

●情報モラル出前講座

ネットインストラクターを派遣して、ネット社会の危険な現状を保護者や地域の方々に伝えたり、ネット社会の闇から子供を守るための手立てについて具体的に話したりします。申込み用紙は、学習情報部のHPにあります。